



例題 1

次の計算が成り立つようにア～オにあてはまる数を答えなさい。

$$10 \times \boxed{\text{ア}} + 1 \times \boxed{\text{イ}} + 0.1 \times \boxed{\text{ウ}} + 0.01 \times \boxed{\text{エ}} + 0.001 \times \boxed{\text{オ}} = 42.195$$

答え ア 4, イ 2, ウ 1, エ 9, オ 5

[例題 1 の解説]

42.195は40と2と0.1と0.09と0.005でできています。

$$42.195 = 40 + 2 + 0.1 + 0.09 + 0.005$$

$40 = 10 \times 4$ 、 $2 = 1 \times 2$ 、 $0.1 = 0.1 \times 1$ 、 $0.09 = 0.01 \times 9$ 、 $0.005 = 0.001 \times 5$  より

ア=4、イ=2、ウ=1、エ=9、オ=5であることがわかります。

例題 2

次の計算をしなさい。

$$10 \times 3 + 1 \times 8 + 0.1 \times 7 + 0.01 \times 1 + 0.001 \times 9$$

答え 38.719

[例題 2 の解説]

$$10 \times 3 + 1 \times 8 + 0.1 \times 7 + 0.01 \times 1 + 0.001 \times 9$$

$$= 30 + 8 + 0.7 + 0.01 + 0.009 = 38.719$$

例題 1 や例題 2 のように、整数や小数は位くらいごとにわけることができます。



例題3

次の計算が成り立つようにア～オにあてはまる数を答えなさい。

$$10 \times \boxed{\text{ア}} + 1 \times \boxed{\text{イ}} + \frac{1}{10} \times \boxed{\text{ウ}} + \frac{1}{100} \times \boxed{\text{エ}} + \frac{1}{1000} \times \boxed{\text{オ}} = 83.624$$

答え ア 8 , イ 3 , ウ 6 , エ 2 , オ 4

[例題3の解説]

83.624は80と3と0.6と0.02と0.004でできています。 $0.6 = \frac{6}{10}$ 、 $0.02 = \frac{2}{100}$ 、 $0.004 = \frac{4}{1000}$ なので、  
83.624は80と3と $\frac{6}{10}$ と $\frac{2}{100}$ と $\frac{4}{1000}$ でできています。

$$83.624 = 80 + 3 + \frac{6}{10} + \frac{2}{100} + \frac{4}{1000}$$

$80 = 10 \times 8$ 、 $3 = 1 \times 3$ 、 $0.6 = \frac{6}{10} = \frac{1}{10} \times 6$ 、 $0.02 = \frac{2}{100} = \frac{1}{100} \times 2$ 、 $0.004 = \frac{4}{1000} = \frac{1}{1000} \times 4$  より

ア=8、イ=3、ウ=6、エ=2、オ=4であることがわかります。



例題4

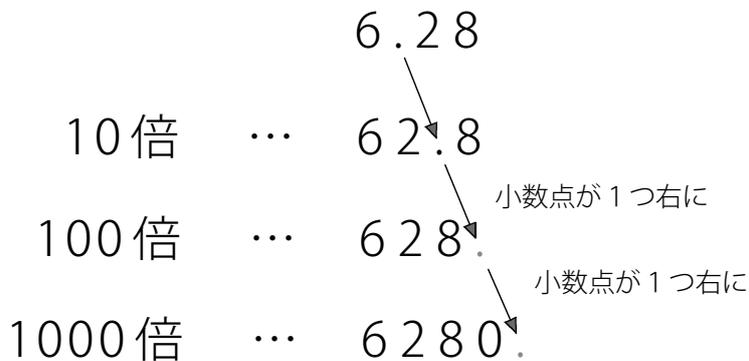
次の問いに答えなさい。

- (1) 6.28の10倍はいくつですか。
- (2) 6.28の100倍はいくつですか。
- (3) 6.28の1000倍はいくつですか。

答え (1) 62.8 (2) 628 (3) 6280

[例題4の解説]

整数や小数を10倍にすると小数点は1つ右に、100倍にすると小数点は2つ右に、1000倍すると小数点は3つ右にうつります。



- (1)  $6.28 \times 10 = 62.8$
- (2)  $6.28 \times 100 = 628$
- (3)  $6.28 \times 1000 = 6280$



例題5

次の問いに答えなさい。

(1) 35.9の $\frac{1}{10}$ 倍はいくつですか。  $\frac{1}{10}$

(2) 35.9の $\frac{1}{100}$ 倍はいくつですか。  $\frac{1}{100}$

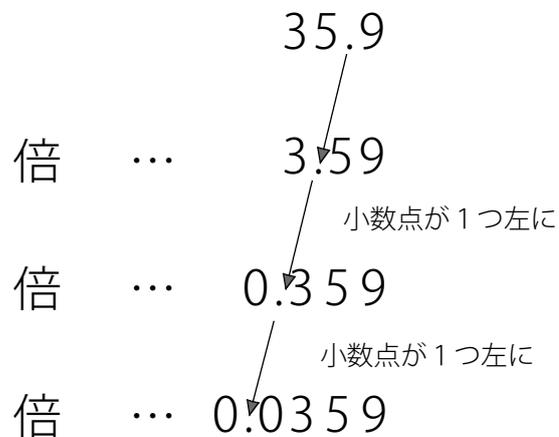
(3) 35.9の $\frac{1}{1000}$ 倍はいくつですか。  $\frac{1}{1000}$

答え (1) 3.59 (2) 0.359 (3) 0.0359

[例題5の解説]

整数や小数を $\frac{1}{10}$ 倍にすると小数点は1つ左に、 $\frac{1}{100}$ 倍にすると小数点は2つ左に、 $\frac{1}{1000}$ 倍にすると小数点は3つ左

にうつります。



(1)  $35.9 \times \frac{1}{10} = 3.59$

(2)  $35.9 \times \frac{1}{100} = 0.359$



(3)  $35.9 \times \frac{1}{1000} = 0.0359$

$\frac{1}{10}$ 倍にすることは10でわることと同じです。 $\frac{1}{100}$ 倍にすることは100でわることと同じです。

$\frac{1}{1000}$ 倍にすることは1000でわることと同じです。

ポイントまとめ

- 整数や小数を10倍にすると小数点は1つ右に、100倍にすると小数点は2つ右にうつります。
- 整数や小数を $\frac{1}{10}$ 倍にすると小数点は1つ左に、 $\frac{1}{100}$ 倍にすると小数点は2つ左にうつります。
- $\frac{1}{10}$ 倍にすることは10でわることと同じです。 $\frac{1}{100}$ 倍にすることは100でわることと同じです。